

高木 悦子 議員（代表質問）

1 滑川市の将来設計を問う

- (1) 平成22年度の一般会計並びに特別会計の決算報告結果を、それぞれどのように評価しているか？
- (2) 中期財政計画における地方債残高の見込み、財政調整基金などの残高の見込み、並びに下水道事業特別会計などの地方債残高の見込みについて、どのような見解を持っているか？
- (3) 東日本大震災を受け、市内の公共施設の耐震化並びに老朽化した施設の改修あるいは新築が課題となっているが、それらの財政支出に堪えられる財政内容か？
- (4) 滑川市の市債残高の過半数を下水道事業特別会計が占めている。市長マニフェストに「公設の合併浄化槽の導入」が掲げられているが、滑川市の下水道計画を転換する見通しはあるか？
- (5) 国政ではバラマキ政策の見直しから、子ども手当が廃止され所得制限導入がされた児童手当の拡充へと方向転換を行ったが、滑川市の福祉施策における方向はいかに？
- (6) これから生産人口が減少し高齢者を支える世代が減少する中で、滑川市は持続可能な財政を堅持していかなければならないが、将来への責任をどのように考えているか？

2 滑川市の防災について

- (1) 学校施設、市庁舎、市民会館、図書館並びに地区公民館などの耐震化、老朽化施設の改修あるいは新築に対する基本的な考え方は？
- (2) 海岸沿いの中でも住宅が密集する旧町部の避難所に対する不安が高まっている。公共施設の耐震化や改修、新設を考える際に避難所問題の解消を検討すべきと考えるが、市の見解は？
- (3) 現在の自主防災組織の現状（組織率並びに活動状況）はどうなっているか？

- (4) 自主防災組織の量（組織率）から質（活動内容の充実）に転換を図るべきではないか？
- (5) 想定すべき災害による防災訓練のあり方など、自主防災組織における混乱が見られるが、市として防災訓練の指針を示すべきではないか？
- (6) 「滑川市民防災の日」を定めて、滑川市民の防災意識の高揚を図るべきではないか？

3 滑川市の運動施設、公園施設の全体ビジョンを問う

- (1) 既存の市内運動施設、公園の市民の利用状況並びに施設管理の歳出状況は？
- (2) 運動施設、公園施設の市民の利用を促進するための、事業面・ソフト面の状況は十分なものと言えるか？また歳出状況はどうか？
- (3) 滑川市運動公園、海浜公園の整備は完了したのか？
- (4) 海洋高校閉校後の利活用策として、競技力向上のための施設利用が検討されているが、滑川市民に開放される運動施設となるのか？
- (5) 市内の運動施設や公園が不十分なのではなく、それを活用していく全体のビジョンが見えないが、そのビジョンを問う。
- (6) スポーツ・健康の森公園についても、陸上競技場部分を活用していくソフト面が明確に示されていない。仏作って魂入れずにならないか？
- (7) 公共施設の耐震化など市民の安全安心を守ることを優先しなければならないが、財政的に大きな負担が見込まれる状況下において、「今」スポーツ・健康の森公園の完成を急がなければならないのか？

4 養鶏場建設問題の対応について

- (1) 多くの市民の皆さんが心配をしている魚津市鹿熊地内の養鶏場建設に関するその後の経過はどうなっているのか？

- (2) 排水はもちろんのこと、半径3キロにも及ぶ臭気も看過できない問題である。鶏糞の処理方法など、十分な情報収集と協議をして、市民の皆さんの不安を取り除くことが行政に課せられた課題であるが、市議会とともに取り組む考えは無いか？

開田 晃江 議員（一般質問）

1 祭りについて

- ・ ふるさと龍宮まつりや海上花火大会の見直しについて
 - ア 新川古代神街流しは、マンネリ化からくる対応の悪さが参加者から指摘されている。参加者に満足を感じてもらうため、今後の見直しが必要ではないか。
 - イ 海上花火大会で、メイン会場へも大会のアナウンスがあればいいと思うが、盛り上げ方にもう一工夫を。
 - ウ 東日本大震災後の祭りだけに、テーマを設けても良かったかと思うが。
 - エ 他市町村から見た、滑川のふるさと龍宮まつりや花火大会は、どのように見えているか、検証が必要では。
 - オ 補助金を出している滑川市は、もっと積極的に応援すべきでは。

2 環境問題について

- (1) スtockヤードの完成から2年が経過している、どのような効果が出ているか。
- (2) 平成16年から実施している、西地区コミュニティーセンター横と勤労者会館の新聞・雑誌回収ステーションの実績は。
- (3) 資源を集める技として、もっと身近に常設の資源物回収センターを設置し、いつでも持って行けるようにしてはどうか。（魚津市、入善町のように）

3 学校施設について

- (1) 東部小学校の教室と廊下の間仕切りについて
- (2) 田中小学校の体育館に車椅子用のスロープがないが、今後の予定は。

4 特徴ある町を目指して

- (1) ご当地ナンバープレート(キラリンや、ホタルイカ)の活用を再考する考えは。
- (2) 6月26日の芝張りボランティアの大盛會を機に、滑川「ボランティアの日」を制定してはいかがか。
- (3) 旧宮崎酒造を市の迎賓館として活用できるシステムの構築をしてはどうか。
- (4) 時計台の鐘、「海に見える時計台」をPR

野末 利夫 議員（一般質問）

1 地球温暖化対策について

- (1) 新車登録した軽自動車で、電気自動車、ハイブリッド車、アルコール燃料車、天然ガス車及び一部ガソリン車などの国土交通省が示す 2005 年排ガス基準から 75%以上の低減車について、市税である軽自動車税を全額免除とし推進できないか。
- (2) 平成23年から平成27年までの5年で8.5%の温室ガス削減に向けて、街灯をLED発光ダイオードに計画的に切りかえてはどうか。
- (3) 本年度新たに20基程度の街灯が計画されていると思うが、LED発光ダイオードにしてはどうか。

2 防災対策について

- ・ 東日本大震災では津波による災害で多くの方が亡くなり不明者も2万人を超えていることから津波対策の必要性が問われている。安心安全の観点から公的施設の海拔表示看板の設置、市民の皆さんが利用されるごみステーションなどにも海拔表示をし、日頃から津波に対する意識啓発のためにも必要であると思うが。

中島 勲 議員（一般質問）

1 社会環境の整備について

- (1) 認知症サポーターについて
 - ア キャラバンメイト、サポーターの人数は。
 - イ 養成講座の実施内容はどのように。
 - ウ サポーターの活動内容は。
 - エ 今後の取り組みは。

- (2) 認知症対策について
 - ア 相談支援対策はいかに。
 - イ 早期発見の対策を実施しているか。
 - ウ 認知症疾患医療センターとの連携は。

2 教育の向上について

- (1) 学校教育の充実について
 - ア 本年度の教育要覧の記述が前年度までとかなり変化しているが、どのような検討がなされたのか。
 - イ 特に重要と位置づける施策は何か。

- (2) 35人学級の導入について
 - ・ 国の方針を見極めることなく、来年対象となる小学3年生から実施すべきでは。

古沢 利之 議員（一般質問）

1 住宅リフォーム助成制度について

- ・ 全国でも、近隣市でも実施されて好評と聞く。実施の考えはないか、改めて問う。

2 防災対策の強化

- (1) 防災行政無線の戸別受信、デジタル化の検討は。
 - ・ 災害、避難情報は迅速に市民に届くか。
- (2) 避難施設の安全対策
 - ・ 6月議会では公共施設の天井材などの安全性は未調査とあったが、調査しないのか。小中学校は問題ないのか。
- (3) 津波避難施設をどう考えるか。
 - ・ 短時間に避難できる場所はあるか。

浦田 竹昭 議員（一般質問）

1 地球温暖化対策の取り組みについて

- ・ 地球温暖化対策滑川市役所実行計画策定に伴い、低炭素社会づくりへ向けての意気込みについて
 - ア 目標達成に向けた具体的な取り組みに対する覚悟について
 - イ 省エネルギー対策の推進の内、電気自動車の普及促進への取り組み、並びに補助制度を活用した取り組みについて
 - (ア) 行政での電気自動車の導入について
 - (イ) 行政での電気自動車用電気充電施設の設置について
 - ウ 太陽光発電設備の導入、太陽光の活用及び水の利活用の具体的な取り組み、並びに当局の姿勢について

2 千鳥スキー場の取り扱いについて

- ・ 市有遊休地並びにその管理経費の現状と今後の動向について
 - ア 千鳥スキー場の現状について(使用目的、管理状況、経費など)
 - イ 千鳥スキー場での、利活用の今後の予定について(スキー大会、スキー場の位置付け他利活用など)
 - ウ 千鳥スキー場の管理の見直しについて(敷地内除草管理、リフトの管理、休憩所の管理、有害鳥獣対策を含む管理経費など)

原 明 議員（一般質問）

1 教育文化の向上について

- (1) 小中学校における市内史跡や各種公共施設の見学による学習について
- (2) テレビ寺子屋事業の状況について

2 国際交流について

- ・ 市内在住の中高生、大学生による海外交流の実施について

3 有害鳥獣対策について

- (1) カラスによる被害状況と対策について
- (2) クマ、サルによる被害状況と対策について
- (3) イノシシによる被害状況と対策について

4 放射性物質の検査について

- (1) 中生品種(コシヒカリ)の検査実施期間と晩生品種への対応について
- (2) 野菜、果物など市内で生産される農産物への検査の実施について

5 防災対策について

- (1) 防災士の有資格者数と今後の養成への取り組みについて
- (2) 防災マップは市民へ周知活用されているか。

石倉 正樹 議員（一般質問）

・ 滑川市の除雪体制について問う

- (1) 平成 23 年度の除雪体制は万全か。見通しは。
 - ア 市有除雪機械台数の 18 台は変わらないか。
 - イ 除雪委託業者 32 社及び除雪機械台数は変わらないか。

- (2) 除雪に対する市民要望が毎年増えているのではないか。
 - ア 現状はどうか。また、どう対応されているか。
 - イ 市道認定されていることが条件の一つと聞いているが、その他に条件はあるのか。

- (3) 市民要望に応えるために、今後の除雪体制をどうするのか。
 - ア 市有除雪機は。
 - イ 委託業者は。
 - ウ 貸与は。また、その維持管理費用は。
 - エ 地域での除雪機械購入に補助金はあるのか。その維持管理費用は。
 - オ 委託業者をしっかりと育てていくことが大切と思うが、市発注の工事は、地産地消の観点から、特に除雪に貢献している市内業者にポイントを置くべきでは。

- (4) 市民の除雪に対する不公平感が心配されるなか、市民に応えられる適切な対応をされたい。

水野 達夫 議員（一般質問）

1 今後の観光振興について

- (1) 第1回滑川市観光検討委員会が開催されたが、この委員会の目的は？また、メンバー構成は？
- (2) 滑川市の現在の観光が抱える課題の中でも、特に重要な課題の一つが今後のほたるいかに海上観光のあり方だと思われる。半年後に迫った来年のほたるいかに海上観光の方向性は？
- (3) 時代の変遷とともに課題も多くなっていると提案理由の説明があったが、それらの課題はどういうものか？
- (4) 観光客を呼び込むためには、まず地元の活気が必須であり、そのための一手段が『食』だと思われる。例えば、地元で昔から親しまれてきた「どんどん焼き」を市内外にPRすることが、まちの活性化の一助にならないか？

2 海洋高校及び周辺敷地の利活用について

- (1) 提案理由の説明にあった海洋高校閉校後の跡地や施設の利活用について、現時点の状況は？
- (2) 周辺住民への説明会が開催されたと聞くと、その状況と主な意見内容は？
- (3) 海洋高校敷地北側で主要地方道富山魚津線より海側の市有地を含めた土地の今後の利活用は？

3 職員の採用について

- (1) 現在の職員数は？また、過去6年間(今年度末含めて)の職員の退職者、採用者の推移は？
- (2) 8/29付けで平成24年度採用予定者が公告された。最低限退職者補充が必要だと思うが、職種によってはそうになっていない。なぜか？
- (3) 市職員は人口1万人あたりの職員数が日本一少ない(総務省類型別団

体一般市I -0区分90団体中)状況(「類似団体別職員数の状況」H22.3総務省)であることを再認識された上で、適正な人事管理も含め、今後の職員採用計画をどのように考えるか？